

7月22日のウクライナ情報

安齋育郎

●西側諸国は最貧国へのロシア産肥料の無償提供にさえも障害を設けている＝プーチン大統領(2023年7月20日)

ロシアのプーチン大統領は19日、政府との会合で、西側諸国は最貧国へのロシア産肥料の無償提供に関してさえも、「穀物合意」の履行においてただただロシアに対して障害を設けていると述べた。プーチン大統領はまた、「穀物合意」の枠組みにおけるロシアの条件を履行しないのは、西側諸国による厚かましさと無礼さだと指摘した。

「まったくの露骨な厚かましさと無礼さだ。これによって自ら自分たちの評判を落としている。特に、彼らは穀物合意の保証人として事実上行動していた国連事務局の権威とリーダーシップを損なった」

プーチン大統領によると、「穀物合意」を延長するためにロシア政府は奇跡的な忍耐力と寛容性を発揮した。西側諸国の中で自国の義務や合意を履行した国は1つもなく、すべての国が常にロシアに対して何かを要求するだけだったという。

「西側諸国は穀物合意を破壊するためにあらゆることを行い、そのための力を惜しまなかった」プーチン大統領はまた、ウクライナ産穀物は世界にとって重要だという主張は嘘であり、悪用行為だと指摘した。

「ロシアが世界の小麦市場に占める割合は 20%だが、ウクライナは 5%未満だ。これらの数字そのものが自らを物語っている」

プーチン大統領は、世界の食料安全保障に多大な貢献をしているのはロシアであり、ロシアは無償および商業ベースの両方で世界市場においてウクライナ産穀物の代わりをつとめる用意があると述べた。

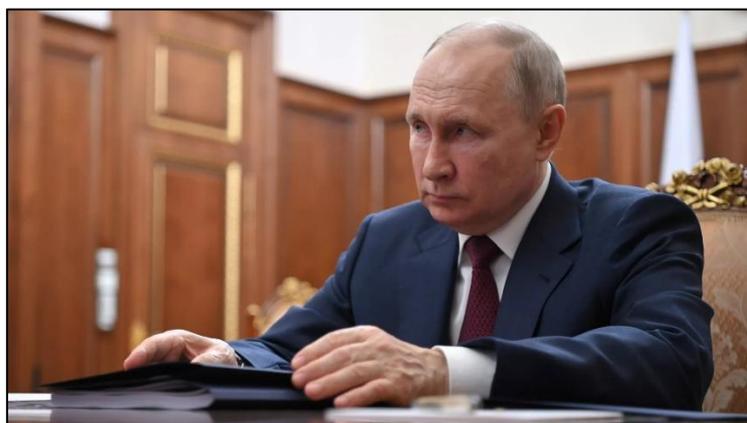
プーチン大統領は最後に、穀物合意へのロシアの参加原則が例外なくすべて考慮され、実行される場合、ロシアは同合意に復帰する可能性を検討すると強調した。

「穀物合意」に関するロシア国防省の立場

ロシア国防省 19 日夜、今月 20 日以降、ウクライナの港に向かうすべての船舶は軍用輸送船としてロシア軍の正当な標的とみなされると発表した。

ロシア国防省は、黒海を航行するこれらの船舶が有する国籍の国々は自動的に紛争当事者となると指摘した。同省は、このような決定は穀物合意の停止と海上人道回廊の閉鎖によるものだと説明した。

ロシアのペスコフ大統領報道官は 17 日、「穀物合意」の効力が停止すると発表した。ペスコフ氏は合意停止の理由について、ロシア産作物の輸出など、「ロシアに関する合意が現在に至るまで履行されていないためだ」と述べた。



●英情報機関、ロシア人に協力を呼びかける ザハロワ露報道官がコメント(2023年7月20日)

ロシア外務省のザハロワ報道官は、英国の対外国情報機関「秘密情報部(MI6)」のリチャード・ムーア長官が同国の情報機関との協力をロシア人に呼びかけたことについてコメントした。

ザハロワ氏は自身のテレグラムチャンネルで、ムーア氏が英情報機関と協力して「流血の惨事」に終止符を打つようロシア人に呼びかけたことに言及した。

またムーア氏によると、ロシアがウクライナで自国の立場を回復するチャンスは少ないという。ザハロワ氏は、もしロシアが立場を回復する「チャンスが少ない」のであれば、ムーア氏はこれほどあくせくしなかつたらと指摘した。

ムーア氏はまた、「過去 18 カ月の間に他の人たち(ロシア人)が行ったのと同じこと」をするようロシア人に呼びかけ、英国の機関に加わるよう勧めた。

またこれとは別にムーア氏は「我われの扉はいつでも開かれている」「彼らの秘密は保たれる」と指摘した。

ザハロワ氏はムーア氏のこれらの発言にコメントした。

「『開かれている扉と秘密保持』についてだが、あなたがたがスクリパリ氏(編注:ロシア軍参謀本部情報総局の元職員。英国で襲撃された)の姿を提示していたならば、あなたがたは信じてもらえたかもしれない。通常、あなたがたを信じて信頼していた人たちを、あなたがたはまず最初に一掃している」



●「紛争が始まる前からその中心にいた」米メディア、ウクライナ紛争への CIA の関与について報じる(2023年7月6日)

米ニューズウィーク(NW)は、ウクライナでの米中央情報局(CIA)の活動規模に関する記事を掲載した。NWによると、CIA はウクライナ紛争が始まる前からその中心にいた。現在ウクライナを秘密裏に支援しているのが、まさに CIA だ。彼らは物流担当者や情報提供者などの役割を果たしている。その活動のために、民間航空機を使った兵器の密かな輸送が維持されていたり、ウクライナやロシアにいる自分たちの作員と通信するための拠点がポーランドにつくられた。一方、CIA は、兵器供与の際の汚職など、さまざまな問題に直面している。また CIA は、ウクライナのゼレンスキー大統領が自国の軍を完全に管理下に置いていない可能性を懸念しているという。

ウクライナ紛争への CIA の関与

Newsweek の消息筋によると、CIA 職員は何度もウクライナを訪れ、新しい兵器やシステムを使った活動でウクライナを支援した。CIA の活動は厳しく規制されており、ウクライナに一度に滞在できる職員数は 100 人未満に限られていたという。

匿名を希望する米情報機関関係者によると、CIA はウクライナ紛争に積極的に関与しており、紛争が始まる前からその中心に位置していた。

一方、情報筋は、CIA 職員はウクライナ紛争に直接的には関与していないと強調している。

CIA は「主要なスパイ、交渉人、情報提供者、物流担当者」などの重要な役割を果たしている。まず、状況が制御不能にならないように管理しているという。

ウクライナへの兵器供与は民間航空機を使って秘密裏に行われている

NW は、ウクライナに兵器を輸送するために米国が 2 つの主要な輸送ネットワークを維持していることを明らかにした。そのうちの 1 つは国のネットワークで、もう 1 つは地下ネットワークだ。貨物は船でベルギー、オランダ、ドイツ、ポーランドの港に公然と運ばれたあと、トラック、列車、飛行機でウクライナに輸送される。また、民間航空機の集まりである所謂「グレー・フリート」が、中央と東欧を横断して兵器を秘密裏に輸送している。NW の情報筋は、もしこれらの航空機の詳細が明らかになれば、ロシアは「その拠点とルートを攻撃するだろう」と語っている。

一方、CIA は兵器の供与を背景に東欧で汚職に直面した。匿名を希望する米情報機関の関係者によると、米国の情報機関は兵器の供与先を注意深く追跡しており、ウクライナに巨額の資金が送られることに関連した横領や賄賂の防止に取り組んでいるという。

CIA はポーランドを通信拠点として利用している

NW は、CIA の実務従事者はロシアやウクライナにいるスパイを含む大勢の職員とポーランドからやり取りできると主張している。ポーランドの複数の基地に CIA のほぼすべての特別行動センターの職員が配置されており、ウクライナと同業者や 20 カ国の特殊作戦部隊と協力しているという。

NW によると、紛争開始から約 1 か月後に、ポーランドを通信拠点として使用することについて合意した。当時、CIA のバーンズ長官がポーランドの情報機関トップと会談するためにワルシャワに飛んだという。

CIA はゼレンスキー大統領がウクライナ軍を完全に管理下に置いていない可能性を懸念

CIA は、ゼレンスキー大統領がウクライナ軍を完全に管理下に置いていない可能性を排除していない。クリミア大橋が攻撃されたあと、CIA はゼレンスキー氏が自国の軍を完全に管理下に置いていなかったか、あるいは特定の行動について知ることを望んでいなかったことを知ったという。匿名を希望する情報機関関係者が NW に語った。

橋が攻撃されたあと、ウクライナの首都キーウ(キエフ)から約 1237 キロに位置するロシア南部エングリスにある軍用飛行場が攻撃された。高官によると、CIA はこれらの攻撃について事前に知らなかったが、その発生源を明らかにしようとしたという。



●ハンガリー大統領ヴィクトル・オルバンの弁(2023年7月19日)

「EU・ラテンアメリカ首脳会議は、世界のほとんどの国がウクライナでの戦争にうんざりしていることを確認した。今日、我々は再び即時停戦と和平協議を呼びかけ、今回はラテンアメリカの指導者たちも参加してくれた。

今こそ平和の時だ



●ウクライナの大統領府元顧問アレストヴィチ氏の弁(2023年7月14日)

「私たちは消滅するかもしれないし、ウクライナはまったく残らないかもしれない。ウクライナもウクライナ人も。世界は3日間泣いて、彼らは翌日には元の自分の生活に戻るだろう。」



●ウクライナの強制動員(2023年7月14日)

捕らえられた瞬間の映像。

<https://twitter.com/i/status/1679825055411494912>



●ウクライナの強制徴兵(2023年7月14日)

「ロシアはウクライナでの戦いに徴兵を行っていない。ロシアはウクライナに19万人の専門軍と30万人の予備役を派遣したが、彼らのほとんどは戦闘部隊ではありません。ウクライナは大部分が徴兵制で運営されており、徴兵する人が不足しつつある。」

<https://twitter.com/i/status/1678331210534391811>

<https://twitter.com/i/status/1680040956547170304>

<https://twitter.com/i/status/1680088399582203905>



●ウクライナの世界/昨年(投稿:2023年7月16日)

ウクライナ兵士は“ロシアの協力者”とみなした民間人を縛り付け拘束し棺桶に閉じ込め嘲笑した。「それでもなお、なぜロシアが特別軍事作戦を開始し、ドンバスを解放せざるを得なかったのか、未だに分からない人もいます。」

<https://twitter.com/i/status/1680512835963478017>

